

ジエネシス

vo.482

発行 (社)西脇青年会議所
事務局 〒677-0015
兵庫県西脇市西脇990
西脇商工会議所内
TEL 0795-22-3901
FAX 0795-22-8739
http://www.nishiwaki-jc.or.jp



今号の紙面

十二月・一月・二月例会報告 (1、2頁)
吉田卓也君待望の第2子誕生 (3頁)
美加杉野クリーンアッププロジェクト (4頁)

第7回加杉野少年少女主張大会開催

最優秀賞に松本玲美さん

二〇〇八年十二月六日(土)、西脇市立音楽ホールへアピカホールにて「第7回加杉野少年少女主張大会」を開催いたしました。この大会は、加杉野地域(西脇市・多可町)に住む少年少女が、社会や地域、人に感心を持ち、自分の考えていること、感じていることを自分の言葉で表現する中で、自らの個性を発揮し夢や目標に向かってたくましく生きていけることを願い、(社)西脇青年会議所が平成十三年度から継続事業として開催しているものです。



今年度も加杉野地域にある中学校7校から2名ずつ、計14名の生徒に出場してもらい、それぞれの主張(弁論)を発表していただきました。結果は次の通りです。

最優秀賞：松本玲美さん(八千代中学校三年生)「シヤボン玉」優秀賞：藤原朋代さん(西脇南中学校三年生)「世界の人々」優秀賞：橋尾学くん(八千代中学校一年生)「ぼくのいとこ」審査員特別賞：吉川大悟朗くん(加美中学校三年生)「津軽三味線が紡ぐモノ」理事長特別賞：藤岡啓志郎くん(中町中学校三年生)「農作業をしてみたこと」神戸新聞社賞 足立志保さん(加美中学校二年生)「おじいちゃんとお酒」



審査があまりにも難しかったことから、審査委員である神戸新聞社北播総局の増田総局長のご好意により、「神戸新聞社賞」が急遽創設されたり、加美中学校の吉川君の発表内容にあった津軽三味線をどうしても聴いてみたいというリクエストから、舞台上で数曲演奏し

ていただくという一幕もありました。審査時間中のアトラクションとして、西脇市内の小学生によるハンドベルグループ、リトルフラワーベル(代表 熊原幹恵さん)のミニコンサートが行われ、澄んだ音色と一生懸命に演奏する姿が来場者の心に響きました。

審査委員長を務めていただいた多可町教育委員会の小林教育長は、大会最後の講評で「どの主張も素晴らしい。審査が難しかった。まずは、それぞれの学校で激戦を勝ち抜いてここに出場されたことだけでも素晴らしいと思います。また、テーマが広範囲であったにもかかわらず、それぞれが実体験に学んだ濃い内容のものをした。社会に出た時、一番大切なことは『ハート(心)をしつかり持つていくこと』だと思えます。しっかりと自分をもちて堂々たる人生を歩んでほしい。そして、今日子ども達の主張を聞いた会場の皆さんは、各家庭や職場で聞いたこと、感じたことを周りの皆さんに伝えていただきたい」と締めくくりました。(総務広報委 岡本一馬)

最優秀賞を受賞した八千代中学校三年の松本玲美さん

西村丸堂々の船出

一月度新年例会・シニアクラブ総会・合同懇親会



パッチの交換のあと、堅い握手を交わす新旧理事長

も踏まえながら、今年度にかける想いや意気込みを会場全員に自らの言葉で熱く語られました。また、二〇〇八年卒業された先輩方や二〇〇八年度理事メンバーへの記念品の贈呈等も厳粛に行われました。

一月十四日、西脇ロイヤルホテルにおいて、二〇〇九年度(社)西脇青年会議所一月度例会(新年例会・シニアクラブ総会・合同懇親会)が現役メンバー21人、シニアクラブメンバー34人、仮入会員2名、計57名の参加のもと盛大に開催されました。

二〇〇八年度吉田理事長の開会のゴングや挨拶に始まり、朝井二〇〇八年度総務広報委員長の司会進行のもと、通常セレモニーも順調に進み、いよいよ吉田二〇〇八年度理事長から二〇〇九年度西村理事長へパッチの交換、満を持しての(社)西脇青年会議所二〇〇九年度西村丸の船出となりました。

最後の高木俊博先輩の締め挨拶の後、現役メンバーとシニアクラブメンバー全員で肩を組み、一つの輪になり会場が一体となる中、「若い我ら」を熱唱し終了いたしました。その後会場を移動しての二次会にも多数の参加もあるなど、新春を迎え二〇〇九年度(社)西脇青年会議所のスタートとして、充実した素晴らしい一月度例会に相成りました。

(総務広報委 北藤良介)

二月度通常総会

LDタイム新方式導入で会場内にとよめき



吉田光一郎直前理事長をはじめとする2008年度理事メンバーから、事業報告と1年間を終えての感想が語られました。1年間本当に疲れ様でした。(写真：事業報告を行う吉田直前理事長)

二月十二日西脇経済センタービル二階において、二〇〇九年度(社)西脇青年会議所二月度例会(通常総会)が行われました。前田総務広報委員長による西脇経済センタービルで行われる例会初司会の中、開会のゴングに続き、西脇青少年育成委員長によるJC Iクリード唱和、岡本会員指導力開発委員長によるJC宣言朗読並びに綱領唱和。そして西村理事長から本年度二回目となる理事長挨拶があり、改めてメンバーへ今年度にかける熱い思いや方向性を示されました。

その後もセレモニーは順調に進行し、岡本政和委員長より一名の仮入会者の紹介がありました。そして本年度初LDタイムでは、内橋会員指導力開発副委員長に司会進行が代わり、昨年とは大きく違う指名方法に会場が一瞬どよめきました。西村理事長の抽選にて、二〇〇九年度初LDタイムの発表者第一号として、吉田加杉野副委員長が指名されました。会場の凛と張り詰めた空気の中、非常に落ち着いた面持ちでいきなりの指名にも動じず、見事に「JCに入会して学んだ事・良かった事」についてスピーチされました。また、続いて指名された藤井事務局長は、さすがにここ数年の理事職を歴任してこられた成果を十二分に発揮される見事なスピーチを行われました。またLDタイムの講評として、各メンバーがアンケート用紙に講評を記入する方法がとられ、今後のLDタイムや発表者へ参考となる形式がとられました。

そして通常総会に移行し、西村理事長が議長に選出され、吉田二〇〇八年度理事長から第一号議案である二〇〇八年度(社)西脇青年会議所事業報告がなされ、改めて二〇〇八年度の活動に対するメンバーへの労わりや感謝の念が述べられました。その後、小林二〇〇

八年度専務理事や他の理事メンバーからより具体的な事業報告や感想、また収支決算書や監査報告なども行われました。それぞれが非常に充実した収穫の大きな一年であったと感ぜました。その後の基金取り崩しの件である第二号議案も予定時間を大幅にオーバーする活発な質疑応答の末、第一号議案と同様に承認可決されました。最後に村上監事より講評があり、二〇〇九年度二月度例会(通常総会)は終了いたしました。いよいよ西村丸が本格的に動き出します。(総務広報委 北藤良介)



< 今後の例会スケジュール >

3月度例会	3/14(土)	拡大意識向上例会	8月度例会	8/5(水)	講師例会
4月度例会	4/8(水)	教育について学ぶ例会	9月度例会	9/13(日)	加杉野クリーンアップ例会
5月度例会	5/13(水)	加杉野合同例会	10月度例会	10/2(金)	4 LOM合同例会
6月度例会	6/10(水)	講師例会	11月度例会	11/11(水)	通常総会
7月度例会	7/8(水)	J C探求例会	12月度例会	12/12(土)	加杉野少年少女主張大会例会

突然の指名にも動じることなくスピーチをする吉田卓也君(右)と藤井英理君(左)

数字を「読む」

23

174

これが何を表す数字かお判りになる読者はいらつしやるでしょうか。

この数字の単位は「人」。現在現役会員として、現在社団法人西脇青年会議所に所属するメンバーの人数です。(一月一日、二〇〇九年度スタート時)

近年続いてきたメンバー数の減少は、昨今さらに拍車がかかり、ついに現役会員数23名という過去最悪の危機的状況を迎えています。こうした流れは全国的なものでもあり、多くのLOMが近隣LOMとの合併や解散を考慮ざるをえない状況であると聞き及びます。

少々荒っぽい仮定ではありますが、このまま入会者が全く獲得できないと仮定してシミュレーションしてみると、卒業によるメンバー数の自然現象により二〇〇一年度には20人、二〇〇一年度には18人、二〇〇二年度には13人と、わずか3年後には現在の約半数

にまで落ち込むことになってしまう計算。これでは「明るい豊かな社会」の実現へ向けての活動もあつたものではありません。

西脇JCにおいてもこれまでメンバー一同必死に会員拡大に取り組んできましたが、思うように成果が上がらないのが現状です。

こうした流れを断ち切るべく、日本青年会議所では本年度「全国30%拡大! 45,000人必達プロジェクト」と題し、全国的な会員拡大の推進を図っていますが、こうしたプロジェクトもやはり各LOMのメンバーそれぞれがしっかりとした危機感と目標意識を持つて拡大に取り組むことの積み重ねに他なりません。

西脇JCの消滅の危機に際し、シニアクラブメンバーの諸兄におかれましてはこの数字を頭にとどめて頂き、ご子息や知人へ入会を勧めていただきますよう強くお願いしたいと思います。

観光同好会の

京都物見遊山

銀閣寺



最初に行ったのが銀閣寺。京都国際会館からも近いのですが修復工事中なのが残念でした(悲)砂で模様が付いている庭園があります。ホントの名前は慈照寺って言うんですよ。
平安神宮前

知恩院



知恩院は浄土宗の総本山。この日もお寺では大勢のお坊さんがお経を唱えてました。表門の巨大さに西村理事長も大満足。

京都会議に行ってセミナーとLOMナイトだけってもったいない！せっかく京都に来てるんだからセミナーの後は京都観光でしょー！ってことで、今回は京都の名所をちよっと観光してきました！



應天門で写真を撮っただけ、次行く時は中に入りたいたい



中に入るとピラミッド並みに高い石階段が・・・これがキツイんだな。しかし階段を上がると大きな本堂が迎えてくれますよ。すげー中にはちよっとした土産物屋があります。数珠を買うならここがいいですよ。
伏見稲荷神社

全国の稲荷神社の総本宮です。伏見稲荷といえば千本鳥居ですね。商売繁盛の神様でもあるので、沢山の企業が鳥居を奉納しています。



西脇の企業の鳥居もありました。某西脇JCメンバーの会社の鳥居もあるとか・・・



寺尾「何処まであんの〜もうしんどいわ〜」
八坂神社

祇園で買い物したついでに歩いて行ってきました。結構歩いてクタクタでっせ。意外と八坂神社って特に何も無いんだね。



清水寺

ここが毎年お坊さんが漢字一文字書いてる所かな？舞台や音羽の滝、三重塔など見所満載です。お土産も清水寺で買うといいですよ。



今回、京都の名所を数箇所巡ってまちづくりのインスピレーションをいろいろ感じることができました。京都は日本で一番の観光都市なので、観光するのにもいい勉強になるでしょう。(総務広報委 藤井篤史)

かすぎのんが行く！

～ああ自己矛盾の巻～



こんにちは！
僕の名前はかすぎのん。
昨年西脇JCIから誕生したばかりの加野野地域のPRキャラクターなのよ。



「黒田庄牛」のカラダと「日本のハズ」をあらわすので、その「播州織」の子エックのシャリを羽織って手には「山田錦」！
どうですか？
完璧なスタイルでしょ？



地域の人気者になりたいと思っただけで、正直まだまちならにはあまり知られていないんだよね・・・



そで、いま大人気のあのキャラクターにあやかってモザルチエンジしてみることにしました！
それ牛じゃねーし。

吉田卓也君に待望の第2子誕生！



一月二十三日、吉田卓也君に待望の第2子が誕生しました。

吉田航（よしだこう）君

一月二十三日誕生

出生時の身長

47センチ

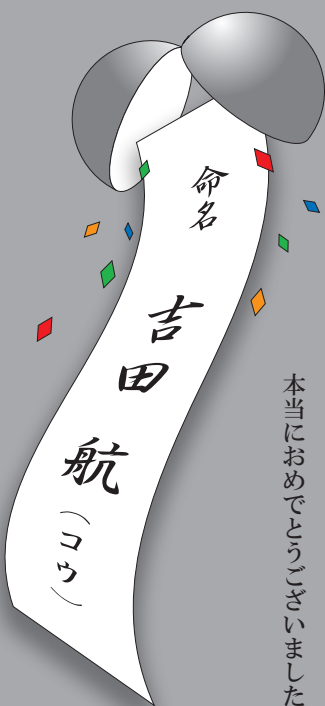
出生時の体重

2854グラム

今年度は廣中幸司委員長率いる加野野委員会に所属し副委員長として忙しい日々を送る吉田君。

かわいい息子さんの顔を見たくて仕方ないのに、帰りが遅くなる日も多いと思いますが、これからも喜びパワーでさらに廣中委員長を盛り立てて行って欲しいと思います。

本当におめでとうございました。



編集後記



本年度、GENESISを発行させて頂く総務広報委員長の前田です。今回GENESISを発行するにあたり、どのようにすれば皆様に分かり易くそして、楽しんで読んで頂けるかを考えてみました。そこでホームページには公開していない記事も新たに掲載し、またデザインも皆様が慣れ親しんでいた形式としてみましたがいかがでしたでしょうか？
今号を第1号とし、年間4回発行予定としております。今後も皆様に楽しんで愛読して頂ければ幸いです。どうぞ1年間、宜しくお願い致します。

事業報告

美加杉野クリーンアッププロジェクト



1月



- 実施日時
2009年1月18日(日)
AM7:00 ~ AM8:00
- 清掃場所
西脇市総合市民センター
～西脇市役所周辺
- 参加人数
18名

1月18日(日)、私たちの住む加杉野地域(西脇市・多可町)を自分たちの手で美しくしようという想いで計画された通年事業、「美加杉野クリーンアッププロジェクト」の第1回目の清掃作業が実施されました。

清掃場所は西脇市総合市民センターから西脇市役所庁舎の近辺。ゴミを拾いながら、例年「へその西脇織物まつり」の舞台となり、昨年の「加杉野ホビーフェスティバル」、一昨年の「加杉野親子ふれあい王国」でもお世話になった西脇市総合市民センターや、西脇市役所庁舎、西脇警察署などの周辺をウォーキング。普段は車で移動することが多く、ゆっくりと眺める機会のない加杉野の風景にあらためて気付くことができたように思います。

朝早いこともあり眠い目をこすりながら集まったメンバー達でしたが、清掃作業をはじめると想像していたより多くのゴミがあることにビックリ。ゴミを集めるのに夢中になっていたようでした。集まったゴミの中でも、特に多かったのがタバコの吸殻と空き缶でした。普段子供たちの通学路になっている道に、こうした大人の出すゴミが多く捨てられていることは本当に残念なことです。

第1回目の「美加杉野クリーンアッププロジェクト」は、参加したメンバー達が自分たちの行動への責任と自覚、そしてこれから一年間行う清掃作業への決意をより強くする機会となったのではないのでしょうか。(総務広報委=岡本一馬)

2月



- 実施日時
2009年2月15日(日)
AM7:00 ~ AM8:00
- 清掃場所
ベルディーホール周辺
道路(多可町中区)
- 参加人数
19名

2月15日(日)、「美加杉野クリーンアッププロジェクト」の第2回目の清掃作業が実施されました。清掃場所は、多可町中区のベルディーホール周辺及び周辺道路。そして、ぼっぼの道を曾我井方面へ清掃しました。

普段よく車で通る道なので、清掃場所がここに決まってから、車から気にして見ていたのですが、ゴミが見当たらず、きれいなのに清掃する必要があるのかな、と思っていました。ところが、拾い始めると、案外落ちているものです。前回も同じ事を思いましたが、やはり、一番多かったのはタバコの吸殻でした。ゴミ袋に入れてもかさは高くないのですが、本数でいうとかなりの本数があったと思います。タバコの吸殻は車からでは目立ちにくく、道のど真ん中に落ちていることも多かったです。とにかく車からでは分からないところにゴミはあります。道路脇の溝の中や、植樹帯の植樹の中、田んぼの畦付近など、歩いてみないとわかりません。

今回清掃して一つ気づいたことがあります。ゴミは分かったところに落ちている、いや分からないように捨てているのだと。植樹に空き缶を突っ込んでいたり、深い溝の中に捨てたり、タバコの吸殻なんかは目立たないから平気でポイ捨てるのだと思います。自分もポイ捨てをしたことが今までにあります。やはり後ろめたい気持ちがあるので、人に見られないように、目に付かないように捨てていたと思います。

『クリーンキャンペーン』、こんなことはする必要はないのです。ポイ捨てさえしなければ。この活動が地域の方々に浸透し、そして、いつか清掃活動などしなくても美しい加杉野地域、「美加杉野」になるように、少しでも近づけるようにこれからも活動に参加したいと思います。(加杉野委=吉田卓也)

■ゴミ収集量

燃えるゴミ 70%ゴミ袋×3



燃えないゴミ 70%ゴミ袋×1



総量 20kg

■多かったゴミBEST3

- 1位 タバコの吸殻
- 2位 空き缶
- 3位 ビニール

■意外なゴミ

- ・長靴
- ・ジャージ
- ・サラダ油の空ボトル

■ゴミ収集量

燃えるゴミ 70%ゴミ袋×3



燃えないゴミ 70%ゴミ袋×1



総量 20kg

■多かったゴミBEST3

- 1位 タバコの吸殻
- 2位 ガムの包み紙
- 3位 空き缶

■意外なゴミ

- ・瀬戸物
- ・電線のビニール

今後の清掃スケジュール(予定)

- 3月15日(日) 多可町加美区青年の家～中学校周辺
- 4月19日(日) みどり園周辺峠
- 5月17日(日) 杉原川(西脇、高瀬スポーツ周辺の堤防)
- 6月21日(日) 杉原川(中町南小学校周辺の堤防)
- 7月5日(日) 野間川(八千代中学校周辺)
- 8月23日(日) 松か井の水周辺峠
- 9月13日(日) アピカ周辺道路～市原町(例会)
- 10月25日(日) 産坂峠
- 11月15日(日) 石原坂峠
- 12月6日(日) へそ公園周辺

<時間> AM7:00～AM8:00 ※9月13日はAM9:10～AM11:30

「美加杉野クリーンアッププロジェクト」では、一般の方のご参加をお待ちしています。お子様からご年配の方まで、楽しくウォーキングをしながらできるゴミ拾いです。

参加するには軍手を持って集合するだけでOK!

さあ、私たち(社)西脇青年会議所メンバーと加杉野(西脇市・多可町)を美しくしましょう!

詳しくは美加杉野クリーンアッププロジェクト特設ホームページ↓

<http://www.nishiwaki-jc.or.jp/cleanup/cleanup-top.html>